

介護人材実態調査

区では、令和8年度の「中央区高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定に向けて、介護保険サービス事業所が提供するサービス内容や医療と介護の連携などの実態と課題を把握するため、介護保険サービスを提供している区内の事業所を対象に、本調査を実施します。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年10月 中 央 区

調査について

- ・この調査は、区内の介護保険サービスを提供している全事業所にお送りしています。
- ・この調査は無記名方式で行います。回答者が特定されることはありません。
- ・調査結果は、区の高齢者施策の推進のために利用され、その他の目的で使用されることはありません。
- ・この調査は●●ページ、計●●問です。

ご記入にあたってのお願い

- ・回答は、サービスの管理者またはそれに準ずる方がご記入ください。
- ・鉛筆や黒または青のボールペンで記入してください。
- ・回答は、あてはまる番号に○をつけてください。（一部の設問は数字を記入します。）
- ・「その他」に○をつけた場合は、〔 〕内に具体的にその内容をご記入ください。
- ・調査票は令和7年10月1日現在でご記入いただき、11月●日（●）までに同封の返信用封筒に入れて投函してください。（切手は不要です。）
- ・この調査票は郵送でお送りしていますが、パソコン、スマートフォンからも回答可能です。なお、パソコン、スマートフォンから回答いただいた場合は、本調査票の記入・提出は不要です。

パソコン、スマートフォンからの回答方法

- 1 以下のURLかQRコードを読み取り、インターネット回答のサイトにアクセスしてください。
- 2 下記のID・パスワードを使ってログインして回答をお願いします。（ログインできない場合は問い合わせ先までご連絡ください。）

URL : <https://●●●●●●>

ID :

パスワード :

（ID・パスワードとも無作為に配布されていますので、回答者が特定されることはありません。）

【問い合わせ先】

★調査の目的・内容について

中央区福祉保健部介護保険課管理係 TEL 03-3546-5748

★調査票の書き方やインターネット回答方法、同封物の不足について

株式会社サベイリサーチセンター TEL 000-000-0000（フリーダイヤル）
受付時間 午前10時～午後5時（土日・祝日を除く。）

（この調査は中央区から株式会社サベイリサーチセンターに委託して実施しています。）

貴事業所について

問1 貴事業所の所在地はどちらですか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|---------------------|---------|
| 1. 京橋地域 | 2. 日本橋地域（八重洲一丁目を含む） | 3. 月島地域 |
|---------|---------------------|---------|

問2 令和7年10月1日現在、貴事業所が指定（許可）を受けているサービスすべてに○をしてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 1. 居宅介護支援 | 2. 訪問介護 |
| 3. 訪問入浴介護 | 4. 訪問看護 |
| 5. 訪問リハビリテーション | 6. 居宅療養管理指導 |
| 7. 通所介護 | 8. 通所リハビリテーション |
| 9. 短期入所生活介護 | 10. 短期入所療養介護 |
| 11. 福祉用具貸与 | 12. 特定福祉用具販売 |
| 13. 特定施設入居者生活介護 | 14. 認知症対応型通所介護 |
| 15. 認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護） | |
| 16. 夜間対応型訪問介護 | 17. 小規模多機能型居宅介護 |
| 18. 地域密着型特定施設入居者生活介護 | |
| 19. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | |
| 20. 看護小規模多機能型居宅介護 | 21. 介護予防訪問入浴介護 |
| 22. 介護予防訪問看護 | 23. 介護予防訪問リハビリテーション |
| 24. 介護予防居宅療養管理指導 | 25. 介護予防通所リハビリテーション |
| 26. 介護予防短期入所生活介護 | 27. 介護予防短期入所療養介護 |
| 28. 介護予防福祉用具貸与 | 29. 介護予防特定福祉用具販売 |
| 30. 介護予防特定施設入居者生活介護 | 31. 介護予防認知症対応型通所介護 |
| 32. 介護予防認知症対応型共同生活介護 | |
| 33. 介護予防小規模多機能型居宅介護 | |
| 34. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設） | |
| 35. 介護老人保健施設 | 36. 介護療養型医療施設 |
| 37. 介護医療院 | 38. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 |
| 39. 介護予防支援 | |
| 40. 予防訪問サービス（ホームヘルプサービス） | |
| 41. 予防生活援助サービス | |
| 42. 予防通所サービス（デイサービス） | |

問3 貴事業所は中央区からの情報を主にどこから入手していますか。(〇は3つまで)

- | | |
|---|----------------------|
| 1. おとしより相談センター（地域包括支援センター） | 3. 介護保険サービス事業者連絡会 |
| 2. 他のケアマネジャー(介護支援専門員) | 5. 広報誌「区のおしらせ ちゅうおう」 |
| 4. 区役所の窓口・担当者 | 7. 中央区ケア倶楽部 |
| 6. 区のホームページ | |
| 8. 区からの通知等 | |
| 9. 中央区社会福祉協議会の窓口・担当者
(地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーターなど) | |
| 10. その他〔具体的に： | 〕 |

問4 昨年度の事業採算について教えてください。(〇は1つ)

- | | |
|--------------|-------|
| 1. 黒字 | 2. 赤字 |
| 3. 収支は均衡 | |
| 4. その他〔具体的に： | 〕 |

人材確保・人材育成等について

問5 貴事業所に所属する介護職員の人数をご記入ください。(数値を記入)

※ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。(ボランティアの方は含みません。)

※前月に出勤のない、長期休暇（育児休業等）中の職員は人数に含めないでください。

※「外国人」には、EPA・技能実習・在留資格「介護」、特定技能により勤務している人数をご記入ください。

①介護職員の総数		人	→ うち常勤職員数		人
			→ うち非常勤職員数		人
②外国人職員数		人	③派遣職員数		人

問6 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。(○は1つ)

1. はい

2. いいえ

【問6-1は、問6で「1」と答えた事業所におうかがいします】

▶問6-1 過去1年間(●年●月●日～●年●月●日)の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。
(数値を記入)

	採用者数	離職者数
常勤職員		
非常勤職員		
合計		

【すべての事業所におうかがいします】

問7 貴事業所で受け入れているボランティアの人数についておたずねします。直近1カ月間に受け入れたボランティア人数(延べ人数、短期/長期は問わない)をお答えください。(数値を記入)

ボランティア人数		人	→ うち高齢者数		人
----------	--	---	----------	--	---

【問8は、「居宅介護支援事業所」の方におうかがいします】

問8 区内全体の介護サービスをみたとき、サービス利用者数（需要）と事業所数（供給）の関係について、どのように思いますか。（○は1つ）

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------|
| 1. 事業所が多すぎる | 2. 事業所がやや多い | 3. 適正な事業所数である |
| 4. 事業所がやや不足している | 5. 事業所が不足している | |

【問8-1は、問8で「4」「5」と答えた事業所におうかがいします】

問8-1 不足していると思う介護サービスは次のうちどれですか。（○は5つまで）

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 1. 居宅介護支援 | 2. 訪問介護 |
| 3. 訪問入浴介護 | 4. 訪問看護 |
| 5. 訪問リハビリテーション | 6. 居宅療養管理指導 |
| 7. 通所介護 | 8. 通所リハビリテーション |
| 9. 短期入所生活介護 | 10. 短期入所療養介護 |
| 11. 福祉用具貸与 | 12. 特定福祉用具販売 |
| 13. 特定施設入居者生活介護 | 14. 認知症対応型通所介護 |
| 15. 認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護） | |
| 16. 夜間対応型訪問介護 | 17. 小規模多機能型居宅介護 |
| 18. 地域密着型特定施設入居者生活介護 | |
| 19. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | |
| 20. 看護小規模多機能型居宅介護 | 21. 介護予防訪問入浴介護 |
| 22. 介護予防訪問看護 | 23. 介護予防訪問リハビリテーション |
| 24. 介護予防居宅療養管理指導 | 25. 介護予防通所リハビリテーション |
| 26. 介護予防短期入所生活介護 | 27. 介護予防短期入所療養介護 |
| 28. 介護予防福祉用具貸与 | 29. 介護予防特定福祉用具販売 |
| 30. 介護予防特定施設入居者生活介護 | 31. 介護予防認知症対応型通所介護 |
| 32. 介護予防認知症対応型共同生活介護 | |
| 33. 介護予防小規模多機能型居宅介護 | |
| 34. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設） | |
| 35. 介護老人保健施設 | 36. 介護療養型医療施設 |
| 37. 介護医療院 | 38. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 |
| 39. 介護予防支援 | |
| 40. 予防訪問サービス（ホームヘルプサービス） | |
| 41. 予防生活援助サービス | |
| 42. 予防通所サービス（デイサービス） | |

【すべての事業所におうかがいします】

問9 採用や人材定着に関して課題があればお書きください。(自由記述)

問10 人材確保に関して区に期待することをお書きください。(自由記述)

ICT 機器・介護ロボットの活用について

問11 貴事業所では、生産性向上のためにツールを利用していますか。(○は1つ)

- 1. 利用している
- 2. 利用（導入）していない ⇒ 問11-2へお進みください
- 3. 利用していないが導入を検討中 ⇒ 問11-3へお進みください

【問11-1は、問11で「1」と答えた事業所におうかがいします】

→問11-1 どのようなツールを利用していますか。(○はいくつでも)

- 1. ケアプランデータ連携システム
- 2. 介護記録の電子化システム（タブレットやスマートフォンでの入力など）
- 3. 業務支援ソフト（スケジュール管理、業務日報、シフト管理など）
- 4. 見守りセンサーやバイタル自動記録装置の活用
- 5. 音声入力や自動記録ツールの導入（ICレコーダー連携等）
- 6. 情報共有ツール（職員間のチャット・掲示板アプリ等）
- 7. ペーパーレス化のためのクラウドストレージ（Google Drive、Dropbox等）
- 8. 業務マニュアルや研修の動画化・eラーニングの活用
- 9. 介護報酬請求業務の効率化ツール（請求ソフト等）
- 10. その他〔具体的に： 〕
- 11. 利用していない

【問11-2は、問11で「2」と答えた事業所におうかがいします】

問11-2 利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. コストがかかる | 2. やり方がわからない |
|------------|--------------|

【問11-3は、問11で「3」と答えた事業所におうかがいします】

問11-3 どのようなツールを導入予定ですか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. ケアプランデータ連携システム |
| 2. 介護記録の電子化システム（タブレットやスマートフォンでの入力など） |
| 3. 業務支援ソフト（スケジュール管理、業務日報、シフト管理など） |
| 4. 見守りセンサーやバイタル自動記録装置の活用 |
| 5. 音声入力や自動記録ツールの導入（ICレコーダー連携等） |
| 6. 情報共有ツール（職員間のチャット・掲示板アプリ等） |
| 7. ペーパーレス化のためのクラウドストレージ（Google Drive、Dropbox等） |
| 8. 業務マニュアルや研修の動画化・eラーニングの活用 |
| 9. 介護報酬請求業務の効率化ツール（請求ソフト等） |
| 10. その他〔具体的に： 〕 |
| 11. 利用していない |

【すべての事業所におうかがいします】

問12 貴事業所では、多職種連携 I C Tシステムを利用していますか。(○は1つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 利用している |
| 2. 導入の準備をしている |
| 3. 導入を検討中 |
| 4. 利用（導入）していない ⇒ 問12-2へお進みください |

【問12-1は、問12で「1」と答えた事業所におうかがいします】

→問12-1 利用している多職種連携システムの種類は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. MCSメディカルケアステーション（エンブレース（株）） |
| 2. TRITRUS（（株）カナミックネットワーク） |
| 3. バイタルリンク（帝人ファーマ（株）） |
| 4. その他〔具体的に： 〕 |

【問12-2は、問12で「4」と答えた事業所におうかがいします】

問12-2 利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 使い方がわからない
2. スタッフのITスキルに不安がある
3. 法人用の端末がない(自分の端末を使いたくない)
4. 他の事業所や医療機関が利用していないため連携しにくい
5. セキュリティや個人情報の取り扱いに不安がある
6. 他の業務で手が回らず、導入する余裕がない
7. 現在の方法(電話・FAXなど)で問題がない
8. 利用するメリットがよくわからない
9. システムがあることを知らなかった
10. その他〔具体的に：

〕

医療と介護の連携について

【すべての事業所におうかがいします】

問13 在宅療養者を支える医療と介護の連携の状況についてどのように思いますか。

(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 十分連携していると思う | 2. ある程度連携していると思う |
| 3. 連携が不十分であると思う | 4. ほとんど連携していないと思う |

問14 医療と介護の連携を進める上で、利用者に関する情報の共有をどのような方法で進めたらよいと思いますか。(○は3つまで)

1. サービス担当者会議
2. 利用者の療養手帳などの紙媒体の資料
3. ICTツールによる、在宅療養者に関する情報の共有
4. 訪問等による顔を合わせての共有
5. 電話による共有
6. FAXによる共有
7. その他〔具体的に：

〕

問15 医療と介護を一体的に提供し、在宅療養支援を進めていくため、医療機関、介護サービス事業者、行政はどのようなことに取り組むことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 医療的ケアが必要な人が利用できるショートステイ施設を充実させる |
| 2. 医療的ケアが必要な人が利用できるデイサービス施設を充実させる |
| 3. 医療的ケアや介護が受けられるサービス付き高齢者向け住宅を充実させる |
| 4. ICTツールによる、在宅療養者に関する情報の共有を推進する |
| 5. 医療と介護の連携マニュアルを作成する |
| 6. 医療関係者と介護関係者が情報交換できる場を確保する |
| 7. 多職種連携強化のための研修を充実させる |
| 8. その他〔具体的に： 〕 |

看取りについて

問16 看取りについて、どのように考えていますか。(○は1つ)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 看取りは、自宅では困難と考えている |
| 2. 可能な限り自宅で行うが、看取りは医療機関で行うべきである |
| 3. 可能な限り自宅で看取りまで行うべきである |
| 4. 自宅か医療機関か、本人の意思を尊重した看取りが望ましい |
| 5. 自宅か医療機関か、家族の意向を尊重した看取りが望ましい |
| 6. その他〔具体的に： 〕 |

問17 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を活用したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 活用したことがある | 2. 活用したことがない |
|--------------|--------------|

問18 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を進める上で必要なことは何ですか。

(○は3つまで)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. ACPに関する、利用者・家族をはじめとする、区民啓発を進めること |
| 2. 早いタイミングからの意向の確認や話し合いを行うこと |
| 3. 一度だけでなく、継続的に意向の確認や話し合いをすること |
| 4. 日頃から、気持ちを話せる雰囲気や人間関係をつくること |
| 5. 本人の意向を尊重し、最期まで意思決定支援を心がけること |
| 6. 適切なサービス調整や支援ができる多職種での連携を進めること |
| 7. 本人・家族との不一致、家族間の調整にも配慮すること |
| 8. その他〔具体的に： 〕 |

【問19は、施設・居住系サービス事業所におうかがいします】

問19 貴施設の施設運営の課題についてご意見をお書きください。

認知症の方や家族の支援について

【すべての事業所におうかがいします】

問20 認知症の利用者の状況で実際にあり、大変なことは何ですか。(○は3つまで)

1. 本人や家族が医療機関を受診しない
2. 本人の意思確認が難しい
3. 家族が認知症であることを認めない
4. 薬の飲み違いや飲まないなど、服薬管理ができない
5. 介護サービスを利用してもらえない、サービス拒否がある
6. 認知症の症状が急変して緊急対応が必要になる
7. 認知症のため適切な介護サービスが受けられない
8. 消費者被害に遭遇したことがある
9. 虐待の恐れがある
10. 本人と家族間で介護の方針が違う
11. 医療的な管理が難しい
12. その他〔具体的に： 〕

問21 認知症の方の支援にあたり特に必要と思われることは何ですか。(○は3つまで)

1. 認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること
2. 認知症の人を支援するサービスや施設等の社会資源がより増えること
3. 認知症の早期診断を担う医療機関が増えること
4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること
5. 医療・介護関係者の認知症への理解と対応力が向上すること
6. 認知症の人の家族支援が充実していくこと
7. その他〔具体的に： 〕

問22 認知症の利用者の家族への支援として特に必要と思われることは何ですか。

(○は3つまで)

1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応すること
2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのること
3. 本人の状態や介護の方法について情報を提供すること
4. 家族の人同士が集える場（例えば、認知症カフェや利用者の家族の会など）について情報を提供すること
5. 家族に対する生活支援を行うこと
6. 家族に代わって他機関との調整を行うこと
7. 緊急時の受け入れを行うこと
8. その他〔具体的に： 〕

問23 地域住民の認知症の理解を促進するために特に必要と思われることは何ですか。

(○は3つまで)

1. 認知症サポーター養成講座の実施
2. 認知症カフェの実施
3. 認知症に関する講座の開催など学習機会の提供
4. 地域住民の活動の支援
5. 地域の見守りネットワークへの参加
6. 在宅で生活する認知症の人の家族への相談支援
7. 在宅で生活する認知症の人に対する介護保険や生活支援サービスに関する情報の提供
8. その他〔具体的に： 〕

問24 認知症のある方の声を取り入れて、支援に活かしている点があればお書きください。

(自由記述)

地域の課題について

問25 利用者の生活支援をしていて、地域の課題だと思われることは何ですか。

(○は3つまで)

- | | |
|--|---|
| 1. 必要な介護サービスを身近で利用できる事業所が少ない
2. 老老介護、8050問題など、支援が難しいケースが増えている
3. 単身で身寄りのない高齢者が増えてきており、緊急時の対応等が難しい
4. 高層マンション等の集合住宅では、地域での見守り・支え合いが難しい
5. その他〔具体的に： | 〕 |
|--|---|

問26 地域課題の解決のため、必要と思われることは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|--|---|
| 1. 不足している介護サービスの提供が可能な介護事業所の誘致
2. おとしより相談センター（地域包括支援センター）や区との連携強化
3. 介護をしている家族等への相談・支援の充実
4. 地域での見守り・支え合いのネットワークの構築
5. 集合住宅における高齢者の孤立化防止対策
6. その他〔具体的に： | 〕 |
|--|---|

—ご協力ありがとうございました—

このアンケート票は11月●日（●）までに
同封の返信用封筒に入れ、投函してください。（切手は不要です。）